

陳 情 文 書 表

(行財政局)

受 理 番 号	1 2 8 8	受 理 年 月 日	令 和 5 年 11 月 27 日
件 名	京都市立芸術大学移転後跡地活用に係る事業者の公募の中止等		
要 旨	<p>京都市立芸術大学移転後跡地（以下「芸大跡地」という。）を、京都市が芸術、文化、さらに京都の伝統産業を育む施設として、子供から高齢者までが、学び、遊び、そして想像力に満ちた施設、創造のまちとして活用するよう陳情する。</p> <p>京都市は芸大跡地利用として、民間活力により洛西地域、西京区活性化、ひいては京都全体の活性化に寄与する活用を行うとして優先交渉事業者を募集している。募集要項では、SAIKOプロジェクトの一部として、規制緩和を前面に、活力、若者流入をうたい、住民の意見を聴くとしながらも、京都市は、開発によるもうけ主義にかじを取り、芸大跡地全体を一括売却あるいは賃貸することで、優先交渉事業者を募集している。</p> <p>私たちは地域住民の皆さんの意見を聴き取りし、圧倒的に多くの人たちの、引き続き芸大跡地にふさわしい、芸術・文化を発信し、京都のみならず日本そして世界にも誇る芸術発信基地になるような施設があればうれしいとの声がある。</p> <p>芸大移転決定に対し、平成29年に洛西4学区の自治連合会会長を中心に住民が結成した跡地検討委員会が洛西アートヒル計画を作成し、京都市長に提出している。この提言は正に住民要求と合致したものの一つだと考える。市は意見を聴くとしながらも、この計画案を今日まで（今日も）一切目もくれず、土地建物を一括で12億円以上で売却・貸付けすることを異常な速さで推し進めようとしている。</p> <p>ついては、地域住民をはじめ、京都市民の皆さんの意見にしっかりと耳を傾け、芸術、文化、伝統の想像から創造のまち、京都らしい施設を造ることが必要と考え、以下のことを願う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業者の公募については中止すること。それが無理なら延期すること。 2 住民の意見をよく聴くことを大切にし、広く市民の意見を真摯に聴く場を多く設定すること。 3 企業誘致優先、デベロッパー任せの規制緩和による活性化ありきではなく、京都市が跡地を保有し、耐震工事だけで引き続き活用できる建物もある中で、有効活用を市民と共に再検討すること。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	総 務 消 防 委 員 会		